



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 三ツ星ベルト株式会社  
コード番号 5192 URL <http://www.mitsuboshi.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 垣内 一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務部長 (氏名) 増田 健吉

TEL 078-685-5630

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

平成29年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	35,585	7.1	4,738	5.0	5,227	27.4	3,627	23.5
29年3月期第2四半期	33,218	4.5	4,513	7.2	4,103	10.0	2,936	8.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 5,059百万円 (687.2%) 29年3月期第2四半期 642百万円 (54.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	59.94	
29年3月期第2四半期	47.02	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	94,027	67,405	71.7	1,113.79
29年3月期	89,912	63,136	70.2	1,043.20

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 67,405百万円 29年3月期 63,136百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		9.00		13.00	22.00
30年3月期		11.00			
30年3月期(予想)				11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	0.9	7,400	10.6	7,400	12.8	5,300	20.5	87.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細については、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	65,208,397 株	29年3月期	65,208,397 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	4,689,902 株	29年3月期	4,687,018 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	60,520,115 株	29年3月期2Q	62,448,340 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、為替相場が円安傾向で進むなか、企業業績や雇用情勢は回復基調に推移しました。海外の経済は、米国経済が堅調に推移しており、欧州経済も緩やかに回復が見られましたが、一方で北朝鮮情勢への警戒感や米国の政権運営に対する不確実性は高まっており、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは海外を中心に販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高355億85百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益47億38百万円（前年同期比5.0%増）、経常利益52億27百万円（前年同期比27.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億27百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## 〔国内ベルト事業〕

自動車用ベルトは、組み込みライン用はメーカーの新型車投入効果により前年同期と比較して売上高が増加しましたが、補修用はベルト車検交換需要の低下により売上高が減少し、全体では前年同期を下回りました。

一般産業用ベルトは、射出成形機やロボット業界の需要が高まっていることから売上高が好調に推移しました。また、搬送ベルトは食品業界や物流業界向けの売上高が好調であったことに加え、合成樹脂素材も自動車関連部品などを中心に売上高が増加しました。

一方、OA機器用ベルトはユーザの中国市場向け機種数の減少影響などから、売上高は減少しました。

その結果、当事業の売上高は140億9百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は37億70百万円（前年同期比15.9%増）となりました。

## 〔海外ベルト事業〕

欧州では、一般産業用ベルトは農業機械用などの補修用需要が増加し、自動車用ベルトも前年同期並みであったことから、全体では売上高が増加しました。

米国では、一般産業用ベルトは前年同期並みとなり、自動車用ベルトも総じて順調に推移したことから、全体では売上高が増加しました。

アジアでは、一般産業用ベルトは中国市場で減少したものの、タイやインドネシアなどの東南アジアで農業機械用や補修市場がカバーしたことから、売上高が増加しました。また、自動車用ベルトは補修用の拡販が奏功するとともに、二輪車用も伸長し、売上高が増加しました。OA機器用ベルトも日系ユーザ向けを中心に微増となりました。

その結果、当事業の売上高は167億92百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は20億94百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

## 〔建設資材事業〕

土木部門の売上高は前年同期並みとなりましたが、建築部門は公共や民間の改修工事の需要が減少したことから、全体では微減となりました。

その結果、当事業の売上高は23億42百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は27百万円（前年同期比75.8%減）となりました。

## 〔その他〕

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は24億41百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は76百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末は、受取手形及び売掛金の増加等により流動資産が24億72百万円、固定資産が16億44百万円とそれぞれ増加したことから、総資産は前連結会計年度末比41億15百万円増加の940億27百万円となりました。

一方、負債は、借入金の減少等により、前連結会計年度末比1億54百万円減少の266億22百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が28億41百万円、その他の包括利益累計額が14億31百万円とそれぞれ増加した結果、前連結会計年度末比42億69百万円増加の674億5百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.2%から71.7%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内経済は、引き続き、回復基調に推移するものと予想され、海外においても米国経済は堅調に推移するものと考えられますが、北朝鮮問題や欧米諸国の政治動向などによる下振れ懸念もあり、世界情勢の不透明感は続くものと考えられます。

このような状況を踏まえ、平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年8月8日に発表しました業績予想の変更は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,262	27,557
受取手形及び売掛金	14,648	15,950
商品及び製品	11,605	11,147
仕掛品	1,549	1,560
原材料及び貯蔵品	2,388	2,666
その他	1,338	1,372
貸倒引当金	△112	△104
流動資産合計	57,679	60,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,697	6,540
機械装置及び運搬具(純額)	6,976	6,832
工具、器具及び備品(純額)	2,083	2,088
土地	4,280	4,290
建設仮勘定	721	1,278
有形固定資産合計	20,759	21,030
無形固定資産	69	70
投資その他の資産		
投資有価証券	11,066	12,389
その他	348	397
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	11,403	12,775
固定資産合計	32,232	33,876
資産合計	89,912	94,027

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,779	7,883
短期借入金	3,472	3,267
未払法人税等	1,360	1,201
賞与引当金	759	838
その他	4,750	4,713
流動負債合計	18,121	17,905
固定負債		
長期借入金	3,048	2,577
退職給付に係る負債	1,393	1,500
役員退職慰労引当金	26	26
その他	4,186	4,613
固定負債合計	8,654	8,717
負債合計	26,776	26,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,111	2,111
利益剰余金	50,328	53,169
自己株式	△3,305	△3,308
株主資本合計	57,285	60,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,338	7,262
為替換算調整勘定	△201	295
退職給付に係る調整累計額	△285	△275
その他の包括利益累計額合計	5,851	7,282
純資産合計	63,136	67,405
負債純資産合計	89,912	94,027

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	33,218	35,585
売上原価	22,123	23,890
売上総利益	11,095	11,694
販売費及び一般管理費	6,582	6,956
営業利益	4,513	4,738
営業外収益		
受取利息	50	58
受取配当金	212	179
為替差益	—	187
その他	161	193
営業外収益合計	424	618
営業外費用		
支払利息	21	12
為替差損	697	—
固定資産除却損	41	32
売上割引	23	31
その他	49	51
営業外費用合計	833	128
経常利益	4,103	5,227
税金等調整前四半期純利益	4,103	5,227
法人税等	1,166	1,599
四半期純利益	2,936	3,627
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,936	3,627



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	2,936	3,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△211	924
為替換算調整勘定	△2,119	496
退職給付に係る調整額	37	10
その他の包括利益合計	△2,293	1,431
四半期包括利益	642	5,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	642	5,059
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,488	15,063	2,391	30,943	2,275	33,218	—	33,218
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,279	976	0	5,255	780	6,036	△6,036	—
計	17,767	16,039	2,391	36,199	3,056	39,255	△6,036	33,218
セグメント利益	3,254	2,056	112	5,422	97	5,520	△1,007	4,513

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,007百万円には、セグメント間取引消去451百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,458百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,009	16,792	2,342	33,144	2,441	35,585	—	35,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,386	986	0	5,373	701	6,075	△6,075	—
計	18,396	17,779	2,342	38,517	3,142	41,660	△6,075	35,585
セグメント利益	3,770	2,094	27	5,891	76	5,968	△1,230	4,738

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,230百万円には、セグメント間取引消去319百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,550百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。